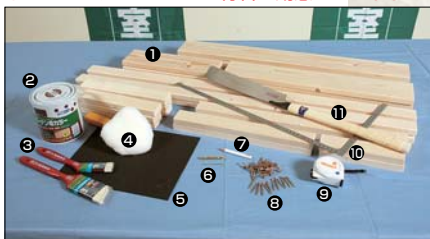




ホームセンターで、こんな材料を用意しましょう



【木材・用具】①木材(SPF 1×4材) ②水性塗料  
③ハケ ④ペイント用スポンジ ⑤サンドペーパー  
⑥ドライバビット(下穴開け用、プラス) ⑦鉛筆  
⑧木ネジ(35mm) ⑨メジャー ⑩カネジャク  
⑪ノコギリ



【電動工具】①充電パワーカッター  
②充電ドリルドライバー  
③充電インパクトドライバー

《工具協力》松下電器産業(株)



庭やベランダに置いて、鉢植えや園芸用具の置き台に。室内に置いてお花や小物を飾ったり、CD、雑誌などの置き場にも。こんな「はしごラック」が1個あれば、庭やインテリアのアクセントになりそうですね。電動工具があれば組み立てはカンタン。さっそく作ってみませんか。制作の指導は、ホームズ寝屋川店。電動工具協力は、松下電器産業の「マイジョイ」シリーズです。

庭やベランダで、室内でインテリアにと、どこでも使える「はしごラック」。作り方は次ページ。

電動工具で組み立てカンタン シリーズ

庭やインテリアのアクセントに！

ディスプレイと収納を兼ねた

何でも置ける「はしごラック」を作ろう

電動工具を使えばラクラク組み立て！

# 母の日に、お母さんが喜びそうな はしごラックを、父と娘が手作りでプレゼント



●パコマ読者スタッフ  
岡村知一さん、萌さん(12歳)

●アドバイザー  
ホームズ寝屋川店 DIY担当/吉家さん、南畑さん

今まで、何でも手作業でやっていたお父さんと、自分で作ることに挑戦したい娘さんの二人三脚でトライ

今回、パコマDIY教室に参加した岡村さん親子は、何でも器用に作ってしまうお父さんの知一さんと、今春から中学生になり、DIYにも好奇心いっぱいのお母さん・萌さんの二人。この日残念ながら参加できなかったお母さんのために、母の日のプレゼントにぴったりのはしごラックの作りに挑戦します。



最初に、アドバイザーの吉家さんから作り方の説明を聞いて、作業スタート。

お父さんのもとと手先が器用で、今までは何でも手作業で作っていました。頼もしい人。電動工具を本格的に使って何かを作るのは、今回が初めてです。最初に、アドバイザーの吉家さんから各工具の使い方のポイントを教わって、作業スタートです。サイズをはかって木材にスミ入れ(印を付ける)するのは、萌ちゃんが担当。パワーカッターで木材のカットをするのはお父さん。パワーカッターは、カットする線の上をまっすぐ前に進めるだけでカンタンに切れてしまいます。「わっ！一瞬ですな」「速いっ！これならお母さんでも使えそう」と、親子ともびっくりにコギリに較べたら全く力をかけないで楽に切れてしまうパワーは、文字通りパワーカッターの威力です。「力



パワーカッターを始めて使ったお父さんスピードの速さにびっくり。

もいりませんが、時間も大幅に短縮できます」と、アドバイザーの吉家さん。木材のカットもアツという間にてきて、作業はいよいよ組み立ての段階に。

組み立ては、すべてドリルドライバーとインパクトドライバーで。木ネジ締めを楽に確実にやるには、木ネジを締める位置に下穴を開けておくことです。こうすると、木ネジが楽に確実に締め、板が割れる心配もないので、特にヒギナーにはおススメ。下穴を開けた位置に木ネジを締めるのは、インパクトドライバーが最適です。上からたたき込むハン



インパクトドライバーは、力強く木ネジをたたき込み、分厚い板にも木ネジ締めが一瞬で。

マー機能とネジ締め機能をあわせ持ったインパクトドライバーは、そのパワフルさと作業スピードの速さに、使い慣れると手放せなくなり。また、どちらのドライバーもスイッチをオンにすると、ネジ元を照らすライトが点灯し、暗いところでも作業がしやすい最新モデル。

電動工具を使って作業するお父さんの横で、板が動かないように支え

「はしごラック」の作り方

4. 脚になるボールの下部を、床に水平に立つように、18度の角度にノコギリで切る。



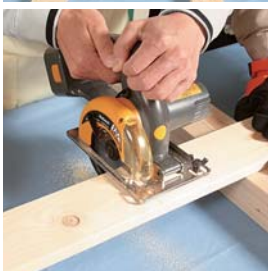
5. 棚板をボールに取り付ける位置をスミ入れて、その位置に棚板を取り付ける。(ドリルドライバーで下穴を開けてから、インパクトドライバーでネジを締める)



6. 好みの色にペイントする。



1. 木材に図面通りにスミ入れて、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)



2. スノコ状の棚板を、上・中・下の3段組み立てる。(最初に棚板受けの枠を組み、その上に棚板を3枚ずつ取り付ける)

①木ネジを締める位置に、ドリルドライバーの下穴開けビットで下穴を開ける。  
②インパクトドライバーで木ネジを締める。



ドリルドライバーで下穴を開けるお父さん。手慣れたドリルドライバーに較べるとラクラクですね。これならお母さんでもカンタンに使えるので、親子の益話。



親子で作る「はしごラック」が、もうすぐできあがり。



「初めてやったけどおもしろかった。今ではお父さんがやるものと思っていただけ、これからはお手伝いしながら自分でも作れるようになっていってます」と、初めての木工体験を楽しんだ様子。

「電動工具があれば、ほんとに速くて楽ですね。これなら、家族でいっしょにいろいろ作れそうです。お母さんにいいプレゼントができたね」と、お父さんも

楽しそうにサンドペーパーで板を磨くお母さん。



うれしそうです。できあがったこの「はしごラック」を家に持ち帰って、お母さんに見せるときの光景が目には浮かぶようです。

